【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年9月13日(2023.9.13)

【公開番号】特開2023-78330(P2023-78330A)
【公開日】令和5年6月6日(2023.6.6)
【年通号数】公開公報(特許)2023-104
【出願番号】特願2023-44333(P2023-44333)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ
Ａ６３Ｆ　7/02　３１２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月4日(2023.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
導入部、第１流路部、第２流路部及び振分部を有し、前記導入部から導入された遊技盤左側の所定領域からの遊技球を、前記振分部によって前記第１流路部又は前記第２流路部のいずれかに振り分けて流下させ得る流路形成手段を備えた遊技機であって、
前記遊技盤の左側領域に向けて発射された遊技球の入球が可能な第１入球手段と、
前記遊技盤の右側領域に向けて発射されて所定の流下経路を流下した遊技球の入球が可能であり、前記第１入球手段とは異なる第２入球手段と、
前記第２流路部を流下した遊技球の入球が可能であって、前記第１入球手段及び前記第２入球手段とは異なる第３入球手段と、
前記第２流路部を流下する遊技球を検知可能な第１の検知手段と、
前記遊技盤の右側領域に設けられ、特定領域を遊技球が流下したことを検知する第２の検知手段と、
前記第２流路部を流下する所定の遊技球が前記第２入球手段へ入球し難く前記第３入球手段へ入球することを許容する第１状態と、前記第２入球手段への入球を許容し前記第３入球手段へ入球難い第２状態と、に制御される第１可動手段と、
前記遊技盤の右側領域に向けて発射された特定の遊技球が前記第２入球手段へ入球することを許容する第３状態と、前記第２入球手段へ入賞し難い第４状態と、に制御される第２可動手段と、
前記第１可動手段及び前記第２可動手段を制御する制御手段と、を備え、
前記制御手段は、前記第１可動手段と前記第２可動手段とを制御することで複数の遊技状態の間で実行する遊技状態を移行させ、
前記複数の遊技状態は、第１遊技状態、第２遊技状態、第３遊技状態を含み、
前記第１遊技状態、前記第２遊技状態及び前記第３遊技状態は、互いに遊技者に有利な遊技球の流下経路が異なり、
前記第２遊技状態は、前記第１の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊技者に有利であり、
前記第３遊技状態は、前記第２の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊技者に有利であることを特徴とする

遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
［形態］（本形態は、主に、下記の第２実施形態及びその変形例に基づく）
導入部、第１流路部、第２流路部及び振分部を有し、前記導入部から導入された遊技盤左側の所定領域からの遊技球を、前記振分部によって前記第１流路部又は前記第２流路部のいずれかに振り分けて流下させ得る流路形成手段を備えた遊技機であって、
前記遊技盤の左側領域に向けて発射された遊技球の入球が可能な第１入球手段と、
前記遊技盤の右側領域に向けて発射されて所定の流下経路を流下した遊技球の入球が可能であり、前記第１入球手段とは異なる第２入球手段と、
前記第２流路部を流下した遊技球の入球が可能であって、前記第１入球手段及び前記第２入球手段とは異なる第３入球手段と、
前記第２流路部を流下する遊技球を検知可能な第１の検知手段と、
前記遊技盤の右側領域に設けられ、特定領域を遊技球が流下したことを検知する第２の検知手段と、
前記第２流路部を流下する所定の遊技球が前記第２入球手段へ入球し難く前記第３入球手段へ入球することを許容する第１状態と、前記第２入球手段への入球を許容し前記第３入球手段へ入球難い第２状態と、に制御される第１可動手段と、
前記遊技盤の右側領域に向けて発射された特定の遊技球が前記第２入球手段へ入球することを許容する第３状態と、前記第２入球手段へ入賞し難い第４状態と、に制御される第２可動手段と、
前記第１可動手段及び前記第２可動手段を制御する制御手段と、を備え、
前記制御手段は、前記第１可動手段と前記第２可動手段とを制御することで複数の遊技状態の間で実行する遊技状態を移行させ、
前記複数の遊技状態は、第１遊技状態、第２遊技状態、第３遊技状態を含み、
前記第１遊技状態、前記第２遊技状態及び前記第３遊技状態は、互いに遊技者に有利な遊技球の流下経路が異なり、
前記第２遊技状態は、前記第１の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊技者に有利であり、
前記第３遊技状態は、前記第２の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊技者に有利であることを特徴とする
遊技機。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記形態の遊技機によれば、遊技の興趣向上を図ることができる。